

令和3年度第1回 荒尾市地区協議会会長会 議事要旨

日時：令和3年8月4日（水）午前10時～12時00分

場所：荒尾市役所 31号会議室

出席者：万田地区協議会 会長 河部 啓宣 会長
万田中央地区協議会 会長 田中 一大 副会長
荒尾地区協議会 会長 田島 衆一 委員（欠席）
井手川地区協議会 会長 辛島 正春 委員
中央地区協議会 会長 中村 泰彦 委員
緑ヶ丘地区協議会 会長 瀬戸 洋 委員
平井地区協議会 会長 倉岡 佳彦 委員
府本地区協議会 会長 山崎 和義 委員
八幡地区協議会 会長 前川 哲也 委員
有明地区協議会 会長 千井 信介 委員
清里地区協議会 会長 西田 誠 委員
桜山地区協議会 会長 吉村 敏行 委員

荒尾市：浅田市長

くらしいきいき課：田中課長、林田係長、赤時、隈、岡元、富重

地区担当職員：新村課長補佐（荒尾地区）・松井次長（万田地区）（欠席）

原口課長（万田中央地区）・末永課長（井手川地区）

永吉課長補佐（中央地区）・富安局長（緑ヶ丘地区）

福本課長（平井地区）・奥村課長補佐（府本地区）

野中局長（八幡地区）・渡邊課長補佐（有明地区）

前崎課長補佐（清里地区）・村田室長（桜山地区）

（連絡事項）産業振興課：岩下課長、江口課長補佐、濱北室長、平山

福祉課：浦浜課長、高木、中島

1. 会長挨拶（河部会長）

本日は、暑い中お集まりいただきありがとうございます。新型コロナウイルスの影響で様々な会議が中止や延期となっており、この地区協議会会長会も開催するかどうか、くらしいきいき課と打ち合わせを行ってきました。今回は、参加者数やワクチン接種の進捗状況などを考慮しながら開催させていただくことになりました。当面は活動が難しいかとは思いますが、コロナに負けて何もしないのではなく、今後の活動に向けて議論を進めていければと考えておりますので、よろしく願いいたします。

2. 市長挨拶（浅田市長）

日頃から各地区協議会の会長の皆様には地域活動に取り組んでいただき心から感謝

申し上げます。また、新型コロナウイルスの感染予防対策の取り組みにもご協力いただき、重ねて御礼申し上げます。

新型コロナウイルスも少し落ち着きを見せておりましたが、デルタ株が広がり、第5波が到来しております。熊本県におきましても、まん延防止等重点措置が適用され、市内の公共施設も一部を休館としたところがございます。デルタ株は非常に感染力が強く、荒尾市内でも有明小学校でクラスターが発生しました。マスクの着用や換気など対策が取られていたにもかかわらず、感染する事例が発生しており、今まで以上に気を付けていかなければならないと感じております。

ワクチン接種は65歳以上の方で2回接種した方は約8割を超えており、市全体でも4割ほど接種が完了しております。接種ペースにワクチンの供給が追い付かず、現在、ワクチン接種が停滞している状況ですが、個別接種や集団接種を順次再開する予定です。

最近の市政の動きにつきましては、学校給食センターや、場外馬券発売所が着工しており、シティモールに市立図書館が移転を進めております。また、去年の7月豪雨からの復旧復興についても県と連携しながら進めております。これからも「暮らしたい町日本一」を目指して地域の皆様と一緒に力を合わせて取り組んでまいりたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

3. 役員改選

令和2年度の地区協議会会長会役員任期の終了をもち、令和3年度の荒尾市地区協議会会長会役員改選を実施した。その結果、会長に万田地区協議会河部会長、副会長に万田中央地区協議会田中会長が就任することが決定した。

4. 地区担当職員挨拶

地区担当職員の課長級・課長補佐級が交代し、新体制となったため荒尾地区から順番に自己紹介を行った。

5. 議題

荒尾市地区協議会会長会規約第5条第1項に基づき、河部会長が議長に就任された。また、同条第2項に基づき、本会の成立が確認された。

○議題1「令和2年度活動状況及び令和3年度事業計画」について（事務局）

事務局から、まずは資料1に基づき、昨年度の全般的な概要を説明した。その後、各地区から今年度の事業計画や活動状況などについて説明いただき情報共有を図った。

◇荒尾地区

欠席のため報告なし。

◇万田地区

令和2年度は、行事や会議等はほぼ中止にした。

令和3年度は例年通り実施する予定はしているが、今後の地域活動の再開は、新

型コロナウイルスの状況次第である。また、マイナンバーカードの説明会を公民館で実施する予定だったが、延期となっている。

◇万田中央地区

令和2年度は、月1回万なかの会の会議を実施し、子ども中心の事業について話し合いを行ってきた。会議は開催したが、行事については、昨年度はほとんど実施出来なかった。

令和3年度は、令和3年度各地区の事業計画に基づいて実施していく予定。新型コロナウイルスの影響で7月から行事等開催する予定だったが、中止にしている。月1回の会議は、通常通り行っている。平成30年に活動拠点としてコンテナハウスを設置したが、床下に水が溜まっており、修繕が必要な状態である。

◇井手川地区

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で会議や行事等を中止にした。7月豪雨で井手川地区は被害を大きく受けた。防災部会を新たに立ち上げ、月1回程度会議を開催し、講師の方を呼んで講座を実施し、防災意識の向上を図った。井手川地区の祭りは3年前から新型コロナウイルスや台風の影響等で中止にしている。今年度も新型コロナウイルスの影響で中止が決定しているが、祭り等を運営する役員の高齢化が進んで、今後も実施が難しいと見込まれる。

◇中央地区

中央地区の大きな祭り「中桜祭」は2年連続中止。令和2年度は6月までは会議や行事の開催が新型コロナウイルスの影響で出来なかった。7月からは会議を再開したが、新型コロナウイルスの影響もあって、再開は難しかった。グラウンドゴルフ大会やペタンク大会等は中止にしたが、3月の歩け歩け大会は実施した。

令和3年度も室内行事は3密になるので開催は難しいと思われるが、屋外の行事はなるべく実施の方向で進めていきたい。市とも相談し、他の地区の状況も聞きながら決定していきたい。

◇緑ヶ丘地区

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で事業がほとんど中止になったので、新たな取り組みとして、地区内商店等のPRや利用促進を図るためエリアマップを作成した。緑ヶ丘地区の大きな祭り「みどりまつり」は中止にした。

令和3年度は、7月に美化作業を実施する予定だったが、雨天中止となった。また、七夕飾りを毎年、あらおシティモールに飾らせてもらっているが、今年度は新型コロナウイルスの影響もあって中止した。今年度のみどりまつりについては、現在協議中で、リスクレベルを見ながら態度を決定していく。また、今年度も行事等が中止になり交付金の使途の見直しが生じるとと思われる。

◇平井地区

令和2年度は、ほとんどの行事は中止になったが、花壇の整備は定期的に行ってきた。岩本橋鯉のぼりまつりも中止にしたが、矢旗の掲揚は行った。会議の実施状況については、区長会は毎月1回実施した。地区担当職員の方々も参加していただ

き、会議で出た問題や行政区の課題などへの対応が早くて非常に助かった。昨年度、平井地区協議会で公式LINEを立ち上げ、SNS等で情報共有を行っている。

◇府本地区

令和2年度は、行事や会議等はほとんど実施したが、敬老会は屋内で飲食を伴うので中止にした。毎年9月下旬に実施しているカライモ掘り大会は、カライモ販売会に変更して工夫しながら実施した。

令和3年度は5月に総会を開催し、昨年度と同様事業や会議等は実施していくこととしている。最後に報告にはなるが、小岱山の紅葉狩りウォークの活動に対し、県の緑化功労者として府本地区協議会が受賞した。

◇八幡地区

令和2年度は、防災ウォーキングや花壇の手入れ、月1回の防災パトロールは実施したが、その他は新型コロナウイルスの影響で中止した。

令和3年度は、総会は書面で開催し、屋外の行事はできるだけ実施するため、9月にグラウンドゴルフ大会、クリーン作戦を実施する予定にしている。しかし、現在第5波が到来しており、開催が厳しい状況である。今年度も昨年度同様、屋外行事をメインに花壇の手入れや、防犯パトロールは継続して行っていく予定。

◇有明地区

地区協議会の活動は、新型コロナウイルスの影響でほとんど実施しなかった。しかし、長寿者表彰は実施した。一方で元気づくりの方では、防犯パトロールを毎月1回実施し、花壇の整備や、子どもたちが絵を作成する海の美術館などを行った。

◇清里地区

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で6月のビーチバレー大会や10月の体育大会は中止した。8月の通学路清掃は、少人数で実施した。玉ねぎ関係も屋外行事であることから実施した。昨年度は新型コロナウイルスの影響で行事が中止になったので、テントの購入や、役員のジャンパーの作製を行った。

令和3年度は通学路の清掃活動や玉ねぎ関係の事業は実施する。

◇桜山地区

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で事業そのものが出来なかったが、自治会長会議を実施し、町内会の困りごとの共有を行った。防災について小学校の子どもたちと学び合いを行い、10月は小学校と連携した、スポーツフェスタを実施した。11月は通学路の除草作業を地域と小学校の先生方と一緒に実施した。

令和3年度も10月にふれあいまつりを実施する予定だが、学校と協議して開催するかどうか決定したい。また、内容についてはICTを活用した密にならない祭りを実施する予定。屋外の行事は感染対策を行いながら実施していきたい。

(質疑応答)

・府本地区のカライモ販売会はどのように実施しているのか。

⇒昨年は3トンのカライモ販売を行い、非常に好評だった。そのため、一人5セッ

トまでの購入にし、制限をかけた。

- ・府本地区の紅葉の植栽は何本ほど行っているのか。
⇒年々植える場所が少なくなり、現在は年間10本～20本程度植えている。
- ・府本地区の敬老会は具体的にどのようなことをされているのか。
⇒例年は、府本小学校の体育館で弁当等の飲食や、高齢者向けの講話、小学校の児童による演芸や踊り、太鼓の演奏会などを行っている。

○議題2「令和3年度協働の地域づくり推進方針（案）」について（事務局）

- ① 新型コロナウイルスへの対応について
- ② 地域情報発信について
- ③ 協働の地域づくり交付金や今後の予定について

（質疑応答）

- ・地域情報発信は、一昨年度視察した佐賀市の事例のように、ホームページを立ち上げて行うものなのか。
⇒アプリや、SNSを用いた発信など、様々な方法があり、現在検討中である。詳細については9月以降に改めて説明する。
- ・コロナのリスクレベルに変化があった時は、市から各会長に連絡し、行事の開催について助言等を行ってほしい。
⇒承知した。

6. 連絡事項

1. 産業振興課

○プレミアム商品券について

別紙の資料を基に説明を行う。

電子での商品券は荒尾市で初めての取り組みとなるので、説明会を開催。日程は8月6日（金）商工会議所で10時からと14時の2回。8月12日荒尾総合文化センター小ホールで10時と14時の2回の計4回開催する。各会長には、この機会に地域の方に電子版を勧めていただき、利用方法の説明会が開催されることを地域住民に周知していただきたい。

（質疑応答）

- ・これは紙と電子、両方申し込み可能なのか？
⇒両方申し込んでも可能である。

○観光振興計画について

観光業界は新型コロナの影響で大変苦しい状況が続いている。しかし、荒尾市としても、こういった状況を前向きに捉え、これを機になんとか観光業界をV字回復できるような戦略を考えようということで、観光振興計画の見直しを進めている。各地域それぞれに優れた資源があるため、観光分野でその資源を活かして、観光振

興を進めたいと考えている。

資料を基に観光振興計画策定の経緯、荒尾市の今後の観光の目指す方向性についての説明を行った。

(質疑応答)

・説明は理解できたが、各地区会長にはどうしてほしいのか？

⇒本日は経過報告ということで説明させていただいた。また、8月12日からパブリックコメントを開始する。計画を進めるまでに個別で会長と協議する可能性があるためご協力をお願いしたい。

2. 福祉課

○民生委員の推薦の協力について

荒尾市では現在民生委員の欠員が20名となっている。地域の方で、民生委員へのご協力をしていただける方がいたら、推薦をお願いしたいと思う。

(質疑応答)

・ボランティアと記載しているが、活動費は支給されるのか。

⇒活動費として市の方から毎月4,500円支給し、また別に県から年間約6万円の支給がある。

・市からの依頼が多く、民生委員の負担が大きい。今後は業務内容の見直し等を行わないと、なり手はどんどん減っていくのではないか。正直、地区の中でもなり手がおらず民生委員の推薦が一番大変である。

・年齢制限を見直して、元気な方に、民生委員をやっていただいた方がいいのでは。また、民生委員の活動費を増額した方がいいのでは。

・「次を見つけないと辞められない」といった習慣に問題があった様に思う。本来は地区の責任でなり手を見つけていくべきではないか。

⇒選考方法については、来年の12月に改正があるので、変更可能なところは今後見直していきたい。また、活動費は平成28年と平成30年に見直しを行っている。

○災害時の要支援者の個別計画について

資料を基に説明。

○その他

・地区担当職員制度で、2年の任期終了時に、お互いに活動の総括が必要なのでは？(地域の評価、反省点など)

⇒次回の会長会でそのような資料も提示したい。